

リアルタイム現地情報

JA ほこたアールスメロン巡回を実施しました

7月21日(木)に普及センターとJAほこたは、アールスメロン「ヴェルダ」の安定生産に向けた巡回指導を行いました。今回は6月交配の作型を中心に、種苗会社の萩原農場担当者と、生産者10名を巡回しました。

「ヴェルダ」は脇芽の発生が多いことから、整枝の管理が重要です。天候を見ながら糖度を上げるために、基本的には脇芽を摘除しますが、近年の高温下で樹勢を保つためには、収穫間際は脇芽を残してもよい場合もあり、判断が難しい品種です。

巡回中に生産者からは「収穫何日前ぐらいまで水をやるべきか」、「脇芽の摘除を実施すべきか。」等の質問がありました。各ほ場の樹勢を見ながら、脇芽のバランスや灌水について意見交換を行い、生産者は今後の管理作業を確認していました。

現状では、果実の肥大やネット形成は良い圃場が多く、病害虫の発生も一部うどんこ病の発生が確認された圃場はありましたが、概ね順調な様子でした。

今後も普及センターでは、アールスメロンの安定生産を支援し、儲かる農業の実現を目指します。

銚田地域農業改良普及センター

